



安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

目次

- 蜂刺されに気をつけてください！
- SC 団体傷害保険にかかる事故状況など
- 事故報告 速報（令和 8 年 6 月分）
- 令和 7 年度 都道府県別 損害賠償責任保険事故状況
- 草刈り作業中の飛び石、対策をしていますか？
- 草刈り作業安全啓発動画のご案内／ 編集後記

蜂刺されに気をつけてください！

【注意】7 月～10 月は蜂の活動期です！蜂刺され事故に注意

令和 7 年度には、「蜂・犬・蛇等に刺され、噛まれた」事故が **1,130 件**（令和 6 年度 931 件）発生しており、年々増加しています。また、近年は蜂刺されによる死亡事故も発生しており、決して軽視できない災害です。蜂刺されでは、体質によってはアナフィラキシーショックを起こし、短時間で命に関わることがあります。（P3、4 参照）

蜂が生息している可能性のある場所では、次の事項を必ず守ってください。

- 作業開始前に、周囲や樹木、植込み、軒下などに蜂の巣の有無や蜂の飛来状況を必ず確認する。
- 蜂用殺虫スプレーを常時携帯し、万一来襲に備える。
- 黒色の服装は避け、長袖・長ズボン・手袋・帽子を着用し、皮膚の露出をできる限り少なくする。
- 香水、ヘアスプレー、整髪料など強い香りのあるものは使用しない。
- ジュースやスポーツドリンクなど甘い飲み物の匂いにも蜂が寄ってくる可能性があるため、飲みかけの容器を放置しないなど十分注意する。

蜂を見つけても慌てて追い払ったり、大声を出したりせず、静かにその場を離れましょう。刺された場合は、速やかに作業を中止し、体調に異変（息苦しさ、全身のじんましん、めまい、吐き気など）が現れたときは、**ためらわず 119 番通報**してください。アナフィラキシーは刺傷後 30 分以内に急速に進行することがあります。

【過去の蜂刺されによる死亡事故事例】

令和 7 年 7 月 植木・樹木の剪定等

ツツジ内のカヤ除去作業中、会員が蜂に刺され、ポイズンリムーバーで吸引処置を実施。腫れもなく本人も「大丈夫」と話したため、休憩後に作業を再開したが、体調不良を訴えたため木陰で休憩した。作業終了時、班長が救急搬送を勧めたが本人は辞退し、センターへ軽トラック返却のため向かった。心配した班長が後を追いつき、職員とともに駐車場を確認したところ、自家用車内で痙攣している会員を発見。直ちに救急車を要請したが、搬送後に死亡が確認された。死因は蜂刺されが主な要因と診断された。

令和 5 年 8 月 除草作業

5 名で草刈り作業中、ツツジの根元からスズメバチの大群が飛び立ち当該会員の左手甲を刺した。持参していた蜂の殺虫スプレーを噴射したが、大群であったため、一旦避難した。救急車を呼ぼうとしたが、当該会員が「自分は何度も刺されたことがある」と断ったため、様子を見守っていたが、10 分程たってから顔色が悪くなり、意識がなくなったことから救急車を要請。医療機関に搬送されたが、亡くなられた。



蜂に刺された時の症状と応急処置

【**症状**】 蜂に刺された時の症状には、刺された場所の周りだけに現れる局所症状と、体内にでる全身症状とがあるので、症状をよく観察し、直ちに緊急処置を行うこと。

＜局所症状＞・刺された箇所を中心に大きく赤い腫れ、痛み、かゆみが出る。

＜全身症状＞・刺された箇所だけでなく、体中に症状があらわれる。

軽傷：顔や体が飲酒したように赤くなる、全身のかゆみ、**なんとなくだるい、苦しい** ㊦ポイント

※「なんとなくだるい」「苦しい」は、アナフィラキシーショックの始まりである可能性があります。この段階で必ず作業を中止し、**安静にしてください**。「少し休めば治る」と考えてはいけません。119番通報を

中傷：喉が詰ったような感じや胸苦しさを感ずる。口の渇き、腹痛、下痢、嘔吐、頭痛、めまい

※このような症状が現れたら、**直ちに119番通報してください**。

重症：意識がもうろうとする。さらに悪化すると、痙攣、意識消失、血圧の低下がみられる。

※命に関わります！アナフィラキシーショックを起こし死亡することがある。※ショック症状が現れる時間が短いほど危険性が高い。

【応急処置】

- 蜂から離れ、安全な場所へ避難する。
- 毒針が残っていたら速やかに取り除き、毒吸引器（ポイズンリムーバー）等で毒を絞り出す。
- 患部を流水や冷水で冷やし、毒が回るのを抑制する。
- 赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る。

＜少しでも体調がわるくなったら＞

迷わず「119番」通報！の連絡を行い、一刻も早く医師の手当てを受ける。

▶①**安静に搬送する**

②仰向けに寝かせ、衣服やベルトを緩め楽にする

③頭を低くし、吐き気がある場合は横向きにする

※患者を搬送する時は、決して背負わず、担架で救急車まで搬送します。

刺された直後に目立った症状がない場合も、処置をして安静にし、医師の診療を受けてください。時間が経つにつれて症状が悪化する場合があります。また、作業を続行し、動くことで毒の周りが早くなります。

＜命を守るための合言葉＞

「**なんとなくだるい**」は救急車を呼ぶサイン

「**少し休めば大丈夫**」は最も危険な自己判断

「**本人が大丈夫**」と言っても、周りが止める勇気を。

蜂刺されによる死亡事故の多くは、初期症状を軽く考え、作業を続けたことが重症化につながっています。

本人も仲間も「**なんとなく様子がおかしい**」という小さな異変を見逃さず、「**命を最優先**」に行動してください。

草刈り作業中の飛び石、対策していますか？ 損害額5億超え！

損害賠償責任保険に係る、「飛散させた物で損壊」の事故件数は、令和7年度は1,882件(3億4,528万100円)となっており、令和6年度の1,912件(3億2,641万4,864円)より30件減少しましたが、損害額は、約1,886万円増加しており、一件当たりの損害が高額化しています。また、飛散事故は、件数全体の約6割、損害額は、約7割を占めるなど、根本的な改善にはほど遠く、草刈作業時の飛散防止対策の徹底が重要課題です。

飛び石は起こってしまうもの、運が悪かった、と考えていませんか？ 飛び石事故が発生したセンターは、原因究明、解決策の検討と実行、そして再発防止策を行ってください。飛び石事故は、ゼロにすることが可能です！

全国の損害賠償責任保険事故の総額は5億1,046万4,573円です!!

ポイント 損害賠償事故がゼロのセンターが実施している飛び石事故対策

- センター職員等のパトロールの回数増、無通告の現場巡回（日常業務の合間に現場へ立ち寄り、会員への声かけ、普段から見に来るという環境づくり）
- 事前下見を徹底し、危険と判断した場合は受注しない方針を明確にする（急斜面・法面、砂利や飛散物が多い場所、車両移動ができない場所、高低差があり転落リスクの高い場所など）
- 飛散防止ネットの活用を必須（車両移動依頼、危険区域への立ち入り禁止など）
- ナイロンカッターの使用禁止（低速上下刃回転式のみ使用）（法面等でのラジコン草刈機を活用）
- 高刈の実施（5cm程度残す／肩掛式刈払機に3cmの安定板の取り付け）
- 継続的な教育（就業前ミーティング、毎年の草刈・剪定安全研修、未受講者は作業不可など）
- 厳格な対応（事故情報の共有と再発防止、報告書、防止対策、反省文の提出、詳細な聞き取りなど）
- 低速上下刃逆回転ハサミ式刈刃班の発足
→新規受注や危険度が高い現場を低速上下刃逆回転ハサミ式刈刃班が作業し、危険度が低い現場はチップ刃を使う会員が作業。

飛び石対策 チェックリスト

下見・作業計画

- ☐ 事前の下見（作業範囲、危険・注意箇所の確認）
- ☐ 複数人での作業体制

作業前の安全措置

- ☐ 作業当日の現場確認（危険予測）
- ☐ 作業前の作業者ミーティング
- ☐ 地面の異物や小石の除去
- ☐ 作業中の看板、危険箇所にコーン等の目印設置

作業に適した保護具の着用

- ☐ 保護帽、保護メガネ、手袋、長靴、長袖 等

作業中の安全措置

- ☐ 車両を安全な場所に移動
- ☐ 飛散防止ネットの設置（適切な大きさ、位置、距離）
- ☐ 飛散しにくい低速回転刃の使用や手刈りの選択
- ☐ 作業者同士は15m以上の間隔をとる
- ☐ 高刈り（5cm程度残す）をしている

令和7年度 損害賠償責任保険月別事故状況

月	損害賠償責任保険事故	除草、除草剤散布、草刈り（仕事の内容）	飛散させた損壊（事故の型）
4月	153	76	62
5月	300	212	192
6月	424	315	261
7月	474	354	283
8月	355	289	237
9月	443	349	291
10月	407	308	251
11月	275	171	146
12月	194	106	94
1月	109	40	31
2月	84	22	19
3月	64	14	15
合計	3,282	2,256	1,882



特に夏の時季は、事故が多いのでくれぐれも
気をつけてね😊





動画「草刈り作業時の重大事故の危険性と防止対策について」

動画では、草刈り作業に潜む7つの危険ポイントについて、事例を交えながら分かりやすく紹介しています。視聴者が危険を予測しながら理解を深められる内容となっており、あわせて具体的な対策方法や作業時の心構えについても解説しています。

安全教育は繰り返しが大切です。日頃の安全対策を見直すきっかけとして、ぜひご活用ください。



動画はこちらの QR コードからご覧いただけます



全シ協作成 安全な草刈り作業のための動画のご案内

草刈り作業をされる会員の皆さまへ

ぜひ、定期的に動画「安全な草刈り作業のために」をご視聴いただき、安全な作業方法の再確認にご活用ください。

飛び石防護ネットは必ず設置し、安全な作業を心がけましょう。

動画 DVD の貸出も行っております。
希望のセンターは、全シ協 研修・支援課まで



動画はこちらの QR コードからご覧いただけます。⇒



全シ協 HP に移動します

猫と暮らしていると、お腹が空いたサインに気付く場面はたくさんあります。私の愛猫の場合、空腹アピールがちょっと個性的です。とにかく「悪いこと」をして、私の気を引こうとします。例えば朝のこと、まだこっちはいびきをかきながら、よだれを少々たらし夢心地でいるのに、やけにバタバタ音がし、薄目を開けると、愛猫が携帯電話の充電機の線を噛んでいたり、卓上の小物をバタバタと床へ落としたりしています。それが一通り済むと、わざわざ私の胸に乗り、顔を押し付け大きな声で「ニャー!」、そろそろご飯ですよと一生懸命伝えているようです。でも、決して本気で困るような悪さはせず、「このくらいならゆるしてもらえるかな?」という、絶妙なイタズラ加減です。その可愛らしい計算高さには、毎回笑ってしまいます。猫がそんなアピールをするのは、もちろんご飯が欲しいからですが、同時に「ちゃんと僕を見てね」「気にかけてね」のサインでもあるのかもしれないと感じました。ご飯を差し出すと、満足そうに小さく「ゴロゴロ」と喉を鳴らす姿（喜び）に、こちらまで幸せな気分になります。イタズラも、空腹アピールも、全部ひっくるめて愛おしい存在です。今日私は、そんな愛猫に振り回されながら、温かい朝時間を過ごしています。辛い時もありますが……。そんな何気ない日常に感謝です。そして、この出来事は人にも通じるものがあるように思います。家族や職場の同僚やあるいは会員さんが少し困らせるような言葉を言ったり、わざと気を引くような態度を見せたりするとき、その奥には「気付いてほしい」「自分を大切に思っていてほしい」という小さな願いが隠れているのではないのでしょうか。もちろん、すべてを許せるわけではありませんが、表面に見える言動だけではなく、その背景にある気持ちに少し目を向けることで、人との関係は今より少しだけ優しくなるのかもしれない。猫の小さなイタズラから教えられるように、私たちの周りにも、言葉にならない「見ていてね」「そばにいてね」というサインがあるのだと思います。小さな変化に気づき、寄り添える人になりたいものです。（高木）